下水道等事業会計決算

（１）下水道等事業会計決算額

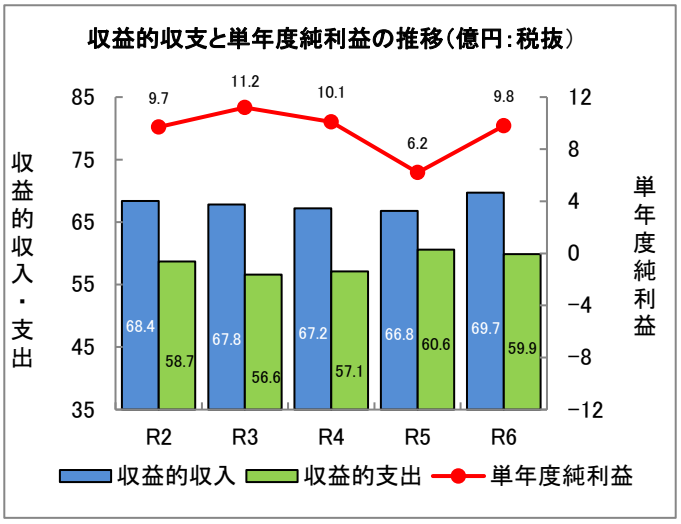
	収入決算額		支出決算額		差引額	（単位：億円）
収益的収支	６９．７	－	５９．９	＝	９．８	【税抜】
資本的収支	２４．３	－	４６．８	＝	△２２．５	【税込】

（２）収益的収支の状況

令和６年度の収益的収支の総収益は 69.7 億円で前年度に比べ 2.9 億円の増加となりました。これは、前年度の流域下水道負担金の還付額の増により過年度損益修正益が増加したことなどによるものです。

また、総費用は 59.9 億円で 0.7 億円の減少となりました。これは、消費税及び地方消費税や流域下水道管理費が減少したことなどによるものです。

この結果、当年度純利益 9.8 億円の黒字決算となりました。

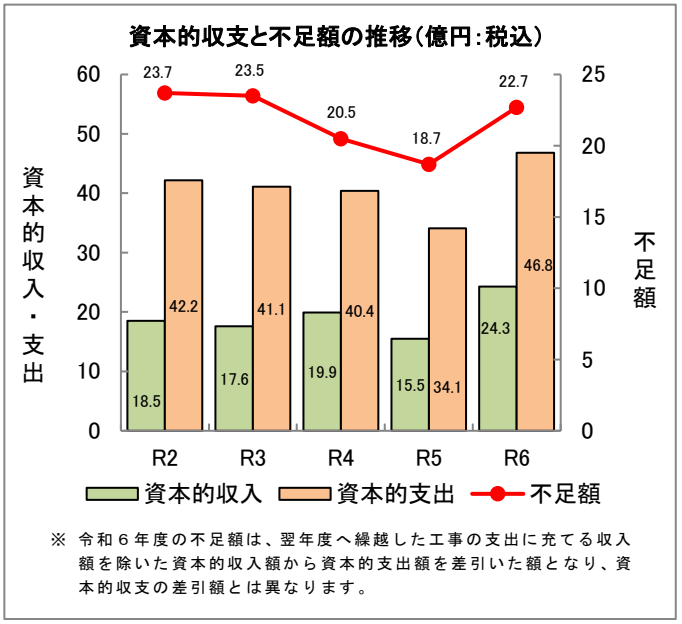


（３）資本的収支の状況

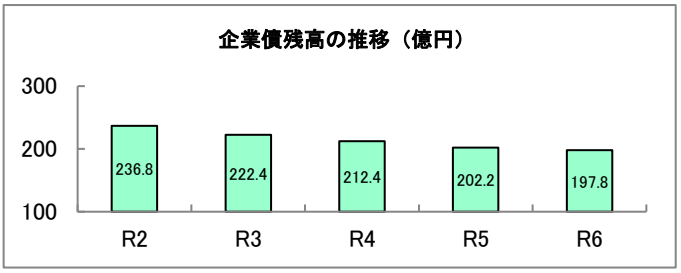
令和６年度の資本的収支の収入は、令和７年度へ繰り越される支出の財源に充当する額 0.2 億円を含め 24.3 億円で前年度に比べ 8.8 億円の増加となりました。これは、企業債が増加したことなどによるものです。

また、支出は 46.8 億円で 12.7 億円の増加となりました。これは、建設改良費や他会計からの長期借入金償還金が増加したことによるものです。

この結果、令和６年度の資本的収入から 0.2 億円を除いた額から資本的支出を差引いた資本的収支不足額が 22.7 億円となりました。この不足額は当年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。



（４）企業債残高の状況

令和６年度は企業債 13.0 億円を借入れ、17.4 億円を償還したことにより、企業債残高は 197.8 億円となりました。

近年、償還額に対して借入額が少なくなっていることから、企業債残高は毎年度減少しています。